

キラコタン岬利用ルール

このルールは、キラコタン岬の自然景観と多様な生態系を保全しつつ、自然体験機会の継続的な提供を図るために定めたものです。散策の際は、以下の事項の遵守をお願いいたします。

1 車両の乗り入れはしない

自然への配慮、歩行者の安全確保から、車両の乗り入れを禁止しています。バイク・自転車等の軽車両も同様です。

2 立ち入りの装備を万全にする

歩道の一部には湿地等もあることから長靴が必要です。また、携帯電話、クマよけ用の鈴と、万が一に備えてクマ撃退スプレーを携帯することが望ましいです。

3 1グループは10名以内

一度に多くの方が立ち入ると様々な問題が生じる可能性があります。また安全管理の面からも散策の際は1グループ10名以内とします。

4 立ち入り前にトイレに行っておく

歩道入口にはトイレがあり、5月上旬から10月下旬まで利用することができます。

5 歩道を外れて歩かない

歩道から外れて歩き回ると道に迷うなど危険だけでなく、植物が踏み荒らされたり、土が削られたりします。

6 長靴を着用する

散策路は、一部水たまりやぬかるんでいる場合があります。歩道から外れないためにも長靴（または防水機能のあるトレッキングシューズやシューズカバー装着）を着用する。

7 動植物をとらない、脅かさない、傷つけない、持ち込まない

繊細な自然は、小さな行為でも大きな影響を受けます。
外来種の持込みも禁止です。

8 野生動物に食べ物を与えない

自然の生態系を乱すだけでなく、人に近寄る野生動物を創り出したり、事故を誘発するなど、人と動物の双方に不幸な結果をもたらします。

9 食べ歩きを行わない

食べこぼしや食べ物のにおいはクマやキツネなどを引き寄せる原因になります。

10 ゴミは持ち帰る

ゴミの投棄は、景観や野生動物に大きな影響を及ぼします。

11 ペットを連れて行かない

クマを刺激してしまう場合があります。

12 ヒグマに出会わないようにする

クマよけ用の鈴の携帯や見通しの悪い所では声を出しながら歩くなど、クマに出会わないようにすることが一番の安全対策です。もし遭遇してしまった時は、クマを刺激しないように静かにゆっくりと引き返してください。騒いだり走って逃げると興奮させてしまいます。

また、クマを目撃した場合は、速やかに教育委員会まで連絡してください。

13 火気は使用しない

山火事の原因となる火気の使用は禁止です。

14 天候が悪い日は立ち入らない

強風や大雨等は自然災害につながる恐れがあり大変危険です。

15 日没1時間前には戻る

樹木に囲まれた散策路のため、日没が近くなると薄暗くなり、道に迷う等の危険性が増します。余裕を持ったスケジュールで散策することが大切です。

<p>お問い合わせ先 鶴居村教育委員会 電話番号0154-64-2050</p>
--